



えんどう ひろし
遠藤 浩 議員

ハラスメント

条例整備に取り組む考えは？

町長／全国の動向注視し取り組む

遠藤：職員に対し、ハラスメントに関するアンケート調査を実施した実績はありますか。

町長：これまで職員に対し、ハラスメントに関するアンケート調査を実施した実績はありません。

遠藤：職員からハラスメントに関する通報や相談があった場合、町は何に基づき、どのような態勢で対応するか伺います。

町長：「広野町職員のハラスメントの防止等に関する要綱」に基づき、ハラスメント処理委員会を設置し、事実関係の公平かつ公正な調査を行い、苦情相談に係る処理対応策について審議し、指導助言を行います。

必要に応じて懲戒処分を含む人事管理上の措置を講ずるとともに、被害を受けた職員の救済措置を図る対応を行います。

熱中症対策

子どもたちを守る取り組みは？

教育長／学校に対策の徹底を指示

遠藤：暑さから子どもたちの命を守る熱中症対策について、「熱中症警戒アラート」の発表は誰がどの時点で確認し、関係者内でどの様に情報共有されているのか伺います。

教育長：小・中学校では教頭及び養護教諭が熱中症警戒アラートを確認し、『熱中症指数計』の値を基に校長・教職員と情報を共有し、熱中症予防に取り組んでいます。

毎月、こども園長、小・中学校長による「園長・校長会」を開催しています。

5月の定例会では、学校等における熱中症対策について確認し、熱中症警戒アラートの発表時における熱中症対策の徹底について指示したところです。



登校中の子どもたち

遠藤：登下校時の熱中症対策として、塩分タブレット・塩分チャージの活用を推奨している学校もあるようですが、当町でも推奨しているのでしょうか伺います。

教育長：当町においては、こども園、小学校、中学校に『熱中症指数計』を1台ずつ配備しています。

教育長：塩分タブレット・塩分チャージについて、校内での活用（摂取）は推奨していませんが、先ほどの「保健だより」において、水分や塩分を適宜補給することを勧めています。

復興・創生

実績と今後の展望は？

町長／必ず成し遂げる決意

渡邊：遠藤町長は就任以来、12年に渡り、復興・創生に取り組んできましたが、これまでの目標達成と今後の展望について伺います。

町長：9割の帰還を成し得て、第二期復興創生期間を刻み、福島復興・創生へと希望に満ちた未来社会に邁進してまいりました。

「新たな広野駅交流施設、駅前ロータリーの整備」「日本一元気あふれるまちの実現」「子どもたちがのびのびと育ち未来を切り拓く力を育む教育」「命を守る生活の確保」「防災体制の確立」「創業の開発研究から実用化に向けた広域連携」「福島国際研究教育機構（FIREI）等と連動した復興人材の育成」など、これまでの事業を継続させ確実に完成に導くことで未来を創ってまいります。

森林再生

未着手箇所の今後は？

町長／事業継続を要望していく

渡邊：未着手の常磐道東側と五社山から西側について、森林再生事業の取り組みを考えているのか伺います。

町長：五社山から西側については、空間線量率が高いことから減衰効果を期待して優先順位を下位としています。

事業の推進に当たっては、令和7年度末の進捗が5割程度となっていることから、本事業の継続について、国・県などの関係機関への要望活動に繰り返し取り組んでいきます。

大滝遊歩道

整備の予定はあるか？

町長／財政状況勘案して検討

渡邊：大滝遊歩道の入り口は、立入禁止の看板が立っています。今後、整備を予定しているのか伺います。

町長：事業の実施には、多額の費用がかかることから、落石防止等の補助事業について、県並びに関係機関と協議をしております。

財政状況を勘案しながら遊歩道の整備に向けて検討していきます。



わたなべ ただよし
渡邊 忠義 議員



森林再生事業未着手の森林の様子



落石のある大滝遊歩道